

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

2014/2015 Annual Cruise Report of the T/V
Seiyo-maru Voyage : Fiscal Year 2014 Cruise
Report

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/1247

1. 平成 26 年度（2014 年度）航海報告 (Fiscal Year 2014 Cruise Report)

1.1 概要 (Annual Cruise Summary)

青鷹丸では、東京湾および相模湾における水温、栄養塩、溶存酸素等の季節変化および経年変化を明らかにするため、毎月 6 日間から 10 日間の日程で定期観測航海を行った(2014 年度は 4 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月に実施)。この定期観測航海では、CTD およびニスキン採水器を装着した RMS、NORPAC ネット、ORI ネット、TurboMAP、マルチコアサンプラー、スミス・マッキンタイヤ型採泥器等により観測を行う。そのほかに、館山湾では投錨し、係留型観測装置を用いて 24 時間観測を行い、同時に漁獲調査も行った。また、相模湾では、沿岸域に生息するサメの生態調査を行う為、延縄操業を行い研究用サンプルを捕獲した。延縄には、深度計、流速計、GPS 等の計器を取り付け、漁具機能を評価するためのデータ収集も行った。さらに、今年度はサメの鉛直分布を調査する為に縦延縄を試験的に始めており、漁獲により生息水深の解明等が期待される。延縄操業のほかにも、8 月の定期航海では 8 月 20 日から 8 月 21 日にかけて房総半島南方でイカ釣り操業を行った。

青鷹丸では定期航海の他にも本学の学部学生や大学院生を対象とした実習航海の実施と、8 月 4 日には東京湾再生推進会議モニタリング分科会等が主催する「平成 26 年度 東京湾環境一斉調査」に参加し、羽田沖で得られた観測データを提供した。海の日には、抽選で選ばれた中高生を乗船させる体験クルーズも実施した。

平成 26 年度に実施した実習のうち、海洋学実習Ⅲと沿岸観測実習ならびに海洋観測演習は海洋環境学科 4 年次生や院生が乗船し、平成 26 年 5 月 12 日から 5 月 30 日迄に 5 日間の航海を 3 回行った。この実習では、東京湾・相模湾における生物系、物理系、化学系調査の実習および、船での海洋調査や分析等の実務実習を目的に行われる。各日程には大学教員も乗船し、より専門的な学習内容となるので、実習生は自分たちの研究に生かすべく熱心に実習に取り組んでいた。また、海洋学実習Ⅰは海洋環境学科 2 年次生が乗船し平成 26 年 7 月 14 日から 8 月 8 日迄の間に 5 日間の実習航海を 4 回行った。この実習は、東京湾に

において表層モニタリング装置を使用したクロロフィル実測値の測定について演習を行うほか、相模湾では海洋観測機器（CTD）、試料採集機器（NORPAC ネット、スミス・マッキンタイヤ型採泥器）の観測を行い、海洋観測手法の基礎について学ぶとともにその構造や機能についての概要を学んでいる。各日程には担当教員も乗船し学生指導を行っており、学生たちは初めて経験する本格的な調査航海実習に慣れないながらも有意義な時間を過ごしているようであった。

乗船漁業実習 I は平成26年2月17日から3月13日迄の間に7日間の実習を4回行った。この実習では海技従事者資格（三級海技士（航海））取得のために必要な所定の免許講習（救命・消火・レーダ観測者講習）を行っており、他の調査実習航海とは異なった実習内容となっている。また、漁業に関しては神奈川県三浦市三崎港の魚市場や横須賀魚市場で魚の仕分けや競りを見学したり、担当者に話を聞いたりすることによって漁業・水産についての知識、理解を深めた。

平成26年度の航行日数と航走距離はのべ152日、3836.9マイルであった。

Table 1.1 年間航海実施表 (Annual Cruise Itineraries)

航海日程及び航程	乗船乗組員	乗船学生	乗船研究者等	主寄港地備考
【SE-14-01】 4月定期調査観測航海 Apr. 04-Apr. 10, 2014	13名	21名	6名	横須賀、三崎、 館山
【SE-14-02】 フレッシュマンセミナー Apr. 14-Apr. 19, 2014	13名	46名	6名	館山湾
【SE-14-03】 海洋学実習Ⅲ Leg.A May.12-May.16, 2014	13名	17名	4名	横須賀
【SE-14-04】 海洋学実習Ⅲ Leg.B May.19-May.23, 2014	13名	20名	3名	三崎、館山湾、 横須賀
【SE-14-05】 海洋学実習Ⅲ Leg.C May.26-May.30, 2014	13名	15名	2名	横須賀、伊東、 三崎、館山湾

Table 1.1 つづき

航海日程及び航程	乗船乗組員	乗船学生	乗船研究者等	主寄港地備考
【SE-14-07】 6月定期調査観測航海 Jun.17-Jun.26, 2014	13名	19名	6名	横須賀、三崎、 波浮、伊東、 網代、館山湾
【SE-14-08】 7月定期調査観測航海 Jul.04-Jul.10, 2014	13名	30名	4名	三崎、伊東、館 山湾
【SE-14-09】 海洋学実習 I Leg.A Jul. 14-Jul. 18, 2014	13名	18名	2名	三崎、網代
【SE-14-10】 海の日体験クルーズ Jul. 21, 2014	13名	中高生 40名	3名	京浜港東京区
【SE-14-11】 海洋学実習 I Leg.B Jul. 22-Jul. 26, 2014	13名	17名	3名	三崎、伊東
【SE-14-12】 海洋学実習 I Leg.C Jul.28-Aug.01, 2014	13名	18名	2名	三崎、網代
【SE-14-13】 海洋学実習 I Leg.D Aug.04-Aug.08, 2014	13名	13名	2名	三崎、横須賀
【SE-14-14】 8月定期調査観測航海 Aug.19-Aug.23, 2014	13名	12名	3名	横須賀、三崎
【SE-14-15】 9月定期調査観測航海 Sep.05-Sep.12, 2014	13名	31名	12名	羽田沖、横須 賀、三崎、 伊東、館山湾
【SE-14-16】 10月定期調査観測航海 Oct.03-Oct.10, 2014	13名	17名	3名	横須賀、三崎、 館山湾
【SE-14-17】 定期検査工事航海 Oct.27-Nov.25, 2014	13名	0名	0名	新潟造船 三崎工場
【SE-14-18】 11月定期調査観測航海 Nov.28-Dec.04, 2014	13名	19名	5名	三崎、伊東
【SE-14-19】 12月定期調査観測航海 Dec.11-Dec.17, 2014	13名	21名	7名	三崎、館山湾

Table 1.1 つづき

航海日程及び航程	乗船乗組員	乗船学生	乗船研究者等	主寄港地備考
【SE-14-20】				
1月定期調査観測航海	13名	18名	6名	三崎、館山湾
Jan.15-Jan.21, 2015				
【SE-14-21】				
2月定期調査観測航海	13名	21名	3名	三崎、伊東、館山湾
Feb.03-Feb.09, 2015				
【SE-14-22】				
乗船漁業実習 I Leg.A	13名	20名	0名	三崎、横須賀
Feb.16-Feb.22, 2015				
【SE-14-23】				
乗船漁業実習 I Leg.B	13名	19名	0名	三崎、横須賀
Feb.23-Mar.01, 2015				
【SE-14-24】				
乗船漁業実習 I Leg.C	13名	24名	2名	横須賀、三崎
Mar.02-Mar.08 2015				
【SE-14-25】				
乗船漁業実習 I Leg.D	13名	18名	0名	横須賀
Mar.09-Mar.15, 2015				

1.2 青鷹丸要目表 (Ship Specifications)

船名	青鷹丸			
船種	第3種船	漁船（練習船）		
所有者	国立大学法人 東京海洋大学			
使用者	国立大学法人 東京海洋大学	東京都港区港南4丁目5-7		
船籍港	東京			
信号符字	JMFG			
船舶番号	130180			
IMO番号	8701363			
船長名	宮崎 唯史			
船体要目	全長	35.50メートル	幅	7.00メートル
	垂線間長	31.00メートル	深さ	3.40メートル
総トン数	170 トン			
純トン数	82 トン			
国際総トン数	272 トン			
主機関	ディーゼルエンジン 1,050PS 1基			
	1軸 可変ピッチプロペラ			
航海速力	11.5ノット			
最大搭載人員	職員	6名	部員	8名
	学生	20名	教員	2名
	合計	36名		
漁労設備	鮪延縄漁	イカ釣り漁	ビームトロール	
航海計設備	GPS航法装置、レーダ（衝突予防援助装置機能付き）、ドップラー潮流表示装置、音響測深器、電子海図表示装置、気象観測装置等			

調査研究設備 科学音響測深器、デジタル表層観測装置、CTD-OCTPUS観測装置、多段
階開閉式ネット、水中ビデオカメラ、波高計等

漁業及び観測用ウインチ

CTDウインチ (ワイヤ長さ2500メートル)	1台
海洋観測用ウインチ (ワイヤ長さ3800メートル)	1台
BTウインチ (ワイヤ長さ1500メートル)	1台

Ship Specifications

Name of Ship: Seiyo - maru

Type: Training Ship, Motor Ship

Owner: Tokyo University of Marine Science and Technology

User: Tokyo University of Marine Science and Technology
4-5-7 Konan, Minato-Ku, Tokyo, JAPAN

Port of Registry: TOKYO

Call Sign: JMFG

Ship's Number: 130180

IMO Number: 8701363

Name of Master: Tadashi Miyazaki

Dimension: Length Overall 35.50 Meters Breadth 7.00 Meters
Length (P.P.) 31.00 Meters Depth 3.40 Meters

Gross Tonnage: 170.0 Tons

Net Tonnage: 82.0 Tons

International Tonnage: 272 Tons

Main Engine: Diesel Engine 1,050PS × 1, Single Screw (C.P.P.)

Cruising Speed: 11.5 Knot

このページは非表示です。

This page is hidden from view.

このページは非表示です。

This page is hidden from view.